

* お知らせとお願い *

【学術大会参加の皆様へ】

1. 午前 8 時 45 分よりコンベンションセンター 1 階にて受付を行っております。
2. 学術展示，一般症例展示，認定医更新用症例報告者および共同発表者は，いずれも本学会会員であることが必要です。
3. クロークは 1 階にございます。

【演者の方へ】

1. 一般口演は一題 10 分，追加討議 2 分ですので時間を厳守して下さい。
2. 演者の方は発表時間の 15 分前に次演者席におつき下さい。口演発表時間は進行状態によって，多少の時間的ずれも考えられますので，早めにご準備下さい。
3. 発表で使用されるご自身のパーソナルコンピューターは，当日 8：45～9：00 の間にスライド受付までご持参下さい。あらかじめシームレススイッチャーに接続し，演台上の専用パーソナルコンピューターを介して，操作できるか確認します。
4. ご自身のパーソナルコンピューターをご持参されない方は，プレゼンテーションファイルを CD-R メディアまたは USB ストレージメディアでご持参いただき，当日 8：45～9：00 の間にスライド受付までご持参下さい。発表の際は，持参していただいたファイルを学会で用意したパーソナルコンピューターへコピーして使用します。なお，学会で用意したパーソナルコンピューター上でスライドの修正等を行うことはできませんので，あらかじめご了承下さい。
液晶プロジェクターへの接続は，一般的な MiNi D-Sub15pin コネクタを使用します。必要に応じて変換アダプタ等をご用意下さい。
5. 学会当日にご提出いただいたファイルは，責任を持って発表終了後速やかに消去致します。運営の都合上，ファイルの消去およびその確認に立ち会っていただくことはできません。どうかご理解の上，ファイルの取り扱いについては学会事務局に一任していただけますようお願い申し上げます。
6. ご自身のパーソナルコンピューターをご持参された方は，口演終了後，30 分以内にスライド受付にてパーソナルコンピューターをお受け取り下さい。

【ご質問される皆様へ】

1. ご発言は座長の指示に従い，必ず所属，氏名を明確にして下さい。質疑応答の記録は取りません。
2. 追加・質問は 1 題につき 2 分ですので簡潔にお願いします。

【座長の方へ】

1. 担当される演題予定時間の 15 分前までに次座長席におつき下さい。
2. 追加・質問での発表者には所属，氏名を明確にさせて下さい。
時間厳守にご協力いただき，円滑な発表と討論の場となるよう，ご配慮をお願いします。

【同時通訳レシーバご利用の方へ】

紛失された場合は弁償金が課されますので使用後はただちにスタッフにご返却下さい。

【学術展示・一般症例展示の方へ】

1. 学術展示会場は3階ホワイエ，一般症例展示会場は2階会議室3-1です。
2. 展示時間は9：30～17：00までです。
3. 展示受付および搬入は8：45～9：30までをお願いします。
4. 展示は展示番号の場所をお願いします。
5. 展示をされておられる先生は，13：15～14：00に展示場所にご待機下さい。
6. 搬出は17：00～18：00までに速やかにお願いします。

【認定医更新用症例報告の方へ】

1. 認定医更新症例の審査・展示会場は2階会議室2です。
2. 受付および搬入時間は8：45～9：30までです。
3. 展示は展示番号の場所をお願いします。
4. 試問時間は12：15～14：00までです。各先生の試問開始時刻は2階会議室2の受付にて確認して下さい。なお，試問時間に変更がある場合がありますので，当日のアナウンスにはご注意ください。
5. 試問を受ける方は必ず試問開始時刻の15分前に試問会場（2階会議室2）に集合して下さい。

【学術展示・一般症例展示・認定医更新用症例報告をご覧の皆様へ】

1. 学術展示・一般症例展示の演者が，13：15～14：00に展示場所に待機しておりますので，ご自由に討論なさして下さい。
2. 9：30～14：00までは，審査および試問のため認定医更新用症例報告展示会場，2階会議室2への入室・閲覧はできません。
3. 認定医更新用症例報告症例閲覧は，2階会議室2で14：00～17：00まで行います。
4. 展示の資料は展示者にとって非常に大切なものです。最大の注意を払ってご覧下さい。
5. 特に，模型は壊れやすいので，なるべく机の上に置いたままご覧下さい。手にとって観察される方は，両手で安定した姿勢をお願いします。
6. 展示の資料を破損された方は必ず大会事務局（2階会議室3-2）にご連絡下さい。
7. 近東矯歯誌掲載用として，大会当日に展示受付に演後抄録原稿を提出して下さい。その際に，抄録内容を記録したCD-Rメディア1枚（WindowsまたはMacintoshのテキストファイル形式，ファイルの名前は「演題番号 筆頭著者名」にして下さい）をあわせて提出して下さい。

【矯正器材展示をご覧の皆様へ】

矯正器材展示は9：30～16：00まで，1階会議室1および研修室で行っております。

第 54 回近畿東海矯正歯科学会学術大会 進行予定表

大阪大学コンベンションセンター						
3F		2F			1F	
3F MO ホール		会議室 2	会議室 3-1	会議室 3-2	会議室 1	研修室
MO ホール	ホワイエ					
8:15	8:15- 設営・搬入 スライド受付開始	8:15- 設営 9:00- 搬入	前日設営 8:45- 搬入	前日設営 8:45- 搬入	前日設営 8:45- 搬入	前日設営 8:15- 搬入
9:30	開会式	学術展示	認定医更新用 症例報告	一般症例展示	特別講演者控室 役員控室 大会事務局	矯正器材展示
9:45	学術発表（口演）2 題					
10:15	休憩					
11:00	特別講演 1 講師： Hugo De Clerck 先生	12:15	試問	13:15	質疑応答	14:00
12:15	総会	13:15	質疑応答	14:00	質疑応答	14:10
12:45	昼食・展示閲覧	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
14:00	挨拶	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
14:10	特別講演 2 講師： 脇坂 聡 先生	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
15:25	休憩	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
15:35	特別講演 3 講師： 山城 隆 先生	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
16:50	閉会式	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
17:00	搬出	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10
18:00	搬出	14:00	14:00	14:00	14:00	14:10

開 会 式 9:30~9:45 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

開会の辞 第54回近畿東海矯正歯科学会大会長
挨拶 近畿東海矯正歯科学会会長
一般社団法人日本矯正歯科学会会長

司会 留 和香子
高田健治
宮澤 健
後藤滋巳 先生

学 術 口 演 9:45~10:15 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

座長：社 浩太郎 先生

A-01 三次元パノラマエックス線装置による口腔顎顔面形態分析法

村林 学 向井陽祐 川端淳司 清水一郎* 勝又明敏*
北井則行

(朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座歯科矯正学分野)

* (朝日大学歯学部口腔病態医療学講座歯科放射線学分野)

A-02 ヒト脂肪細胞分化におけるロイコトリエン B₄ の役割

平田佳永 高田健治

(大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔矯正学教室)

休憩 10:15~11:00

特別講演 1 11:00~12:15 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

座長：嘉ノ海龍三 先生

演者：Hugo De Clerck 先生

(ノースカロライナ大学 非常勤教授)

演題：「Orthopedic traction of the maxilla with miniplates : a new perspective for treatment of midface deficiency」

(同時通訳有)

総 会 12:15~12:45 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

休憩・昼食 12:45~14:00

(13:15~14:00 学術展示・一般症例展示 質疑応答時間)

挨拶 14:00～14:10 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

社団法人 大阪府歯科医師会会長 太田謙司 先生

特別講演2 14:10～15:25 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

座長：高田健治

演者：脇坂 聡 先生

(大阪大学大学院・歯学研究科・口腔分化発育情報学講座・口腔解剖学第一研究室教授)

演題：「口腔感覚受容の形態学的基盤－歯根膜感覚と味覚－」

特別講演3 15:35～16:50 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

座長：北井則行 先生

演者：山城 隆 先生

(岡山大学大学院・医歯薬総合研究科・機能再生・再建科学専攻・口腔・顎・顔面機能再生制御学講座・歯科矯正学分野教授)

演題：「口腔・顎・顔面のかたちづくりと矯正歯科臨床」

閉会式 16:50～17:00 大阪大学コンベンションセンター3階 MOホール

司会 留 和香子

閉会の辞 第54回近畿東海矯正歯科学会大会長

高田健治

第55回近畿東海矯正歯科学会大会長

大山照彦

学術展示 9:30~17:00 3階 ホワイエ (13:15~14:00 質疑応答時間)

- B-01 矯正用インプラントアンカー（仮称）を用いた上顎前歯の圧下について
好田春樹 岡下慎太郎 山田尋士* 松本尚之
(大阪歯科大学歯科矯正学講座)
*(近畿矯正歯科研究会)
- B-02 咬合挙上に留意して治療を行った連続抜去症例
森山直子 福岡逸人 土屋範果 宮澤 健 後藤滋巳
(愛知学院大学歯学部歯科矯正学講座)
- B-03 当院における 20 年間の先天性欠如歯に関する統計調査
小島 理 木崎 創 飯田資浩 (中日本矯正歯科医会)
- B-04 BIPAP の使用に起因した上顎骨の劣成長が疑われる先天性中枢性肺泡低換気症候群の一症例
柴田美佳 新宅優子 谷川千尋 高田健治
(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)
- B-05 上顎骨側方拡大および下顎枝矢状分割骨切り術を施行した片側性唇顎口蓋裂患者の一治験例
新宅優子 谷川千尋 高田健治
(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)
- B-06 上顎大臼歯部の圧下と下顎骨骨切り術の併用により咬合および軟組織プロファイルの改善が得られた一治験例
岡 綾香 上松節子 高田健治
(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)
- B-07 矯正治療前にスプリント療法を行った症例の蝶番軸運動の有無と矯正治療後の顎位の安定性について
川端陽子 (大阪歯科大学歯科矯正学講座同門会)
- B-08 包括的治療に伴いセットアップモデルを用い計画的治療を行った 3 症例
飯田賀代 (愛知県)
- B-09 矯正治療終了後に遅発性に生じた歯肉退縮症例への対応と長期経過報告
中筋真美子 中筋宏明 嘉ノ海龍三 兼松茂仁 (兵庫県)

- B-10 矯正用ミニスクリューインプラントの定着率に影響を及ぼす要因の検討
菅原かほる (大阪府)
- B-11 リンガル矯正とラビアル矯正の治療結果についての比較検討—第2報— 模型について
奥村由香子* 佐奈由弥子 篠崎紗知* 藤井香織 佐奈正敏
(中日本矯正歯科医会)
*(愛知県)
- B-12 リン酸が歯周組織を構成する細胞に及ぼす影響
山元有理 高田健治
(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)
- B-13 外科的矯正歯科治療を要した顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーを有する骨格性開咬の一治験例
東 寛子 留 和香子 高田健治
(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)
- B-14 上顎骨後方部の形態的評価
黒柳ふみ 山口英治 清水唯行 川端淳司 川崎馨嗣
嘉ノ海龍三* 北井則行
(朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座歯科矯正学分野)
*(兵庫県)
- B-15 上顎前歯部歯槽弓と顔軟組織との形態的關係
南 哲至 鈴木貴裕 川端淳司 西島貴之 嘉ノ海龍三*
北井則行 (朝日大学歯学部口腔構造機能発育学講座歯科矯正学分野)
*(兵庫県)
- B-16 口蓋裂一次手術の治療成績評価方法 —5-Year-Old Index の準用—
平野吉子 (大阪府立母子保健総合医療センター口腔外科)
- B-17 加速骨造成法の有用性および安全性に対する検討
奥村令子 山口貴史 (京都府)

一般症例展示 9:30~17:00 2階 会議室 3-1 (13:15~14:00 質疑応答時間)

1. 上顎前突

- C1-01 矯正用インプラントアンカー（仮称）を用いて上顎前歯の圧下を行った骨格性上顎前突症例
好田 春樹 (大阪歯科大学歯科矯正学講座)
- C1-02 上下前歯の唇側傾斜を伴う骨格性上顎前突症例
深井 統久 (大阪歯科大学歯科矯正学講座同門会)
- C1-03 下顎左右側第二小臼歯の先天性欠如を伴う上顎前突症例
伊藤 雅大 伊藤 和明 (中日本矯正歯科医会)
- C1-04 下顎前歯の先天性欠如歯を伴う Angle class II division 2 症例
原口 誠自 高田 健治* (兵庫県)
*(大阪大学大学院・歯学研究科・顎顔面口腔矯正学教室)

2. 下顎前突

- C2-01 上顎劣成長を伴う下顎前突
武東 雅子 及川紀佳子 野々村功至 山田 尋士* (大阪府)
*(近畿矯正歯科研究会)
- C2-02 上下顎前歯前突を伴う下顎前突症例
東 由起子 深井 統久 (大阪府)

3. 叢 生

- C3-01 矮小歯および上顎前歯舌側傾斜を伴う叢生症例
本多 正剛 (奈良県)
- C3-02 骨格性 1 級叢生症例
野々村功至 榎村 徳仁 武東 雅子 山田 尋士* (大阪府)
*(近畿矯正歯科研究会)

4. 上下顎前突

C4-01 叢生を伴う上下顎前突症例
田中 益子 (愛知県)

C4-02 著しく顔貌が改善されたリンガル矯正治療による上下顎前突症例
中川 学 (近畿矯正歯科学研究会)

5. 開 咬

C5-01 顎関節内症を伴うアンクルⅡ級1類前歯部開咬症例
能治佳津子 (阪大矯正臨床研究会)
(兵庫県)

認定医更新用症例報告 9:30~17:00 2階 会議室2 (9:30~14:00 審査および試問のため、入室・閲覧はできません。)

1. 上顎前突

D1-01 骨格性上顎前突ハイアンクル症例
島 芳夫 (福井県)

D1-02 叢生を伴う上顎前突症例
井植 温 (東京都)

D1-03 叢生を伴う上顎前突症例
大西秀威 (大阪府)

D1-04 Ⅱ級1類 deep overbite 症例
合田理恵 (大阪歯科大学歯科矯正学講座)

D1-05 上下顎前歯叢生を伴う上顎前突症例
亀山威一郎 (愛知県)

2. 下顎前突

D2-01 上顎両側犬歯の低位唇側転位を伴う反対咬合症例
小林 裕 (大阪大学矯正歯科同門会)

D2-02 Dolico facial pattern の前歯部叢生を伴う骨格性下顎前突症
杉村美咲 (愛知県)

D2-03 上顎左側第二小白歯の埋伏を伴う反対咬合症例
本田 朋子 (愛知県)

3. 叢 生

D3-01 Angle Class I 叢生症例
荒垣 芳元 (近畿矯正歯科研究会)

D3-02 上下顎前歯唇側傾斜を伴う Angle I 級成人症例
大崎 喜弘 (兵庫県)

D3-03 上顎左側側切歯の舌側転位伴った叢生症例
野村 俊弥 (兵庫県)

D3-04 上下顎歯列に叢生を伴う骨格性 2 級症例
出水麻紀子 (大阪府)

4. 上下顎前突

D4-01 交叉咬合を伴う上下顎前突症例
森田 匠 (愛知学院大学歯学部生理学講座)

D4-02 上顎左右側第二小白歯先天性欠如および下顎前歯の叢生を伴う上下顎前歯突出症例
田中 滋 (福井県)